石仏散歩

No.113

て信仰を集め、当町の地名伝承の一つにもなったこ 遥か出雲国・日御碕から流れ着いた榎は、治病神と

2022年3月25日 新潟県石仏の会(代表 星野 紀子) 発行 電話0257-22-1941 事務局 〒945-0837 柏崎市三島町16-2 渡邉三四一 http://niigata-sekibutu.voxx.jp

### 寄木様 石 仏 散 歩 流れ着い

た榎

が神に

に

邉

兀

に記される。 クリート塀に「寄木様」と大書し、案内板には次のよう 雲崎町井鼻(いのはな)の寄木様(石祠)であった。コン 中越地区見学会で最後に寄り道したのが

0)

ばれるようになった。 違 からこの出雲崎を目指して流れてきた御神木に を吹き、すくすくと伸び、葉を繁らせて大きな榎 あげられていた。その寄木は、しばらくすると芽 昔、井鼻の祖師堂のある浜に、一本の寄木が打ち 木になった。付近の人たちは、これは出雲の国 木の下に石の祠が立てられ「寄木さま」と呼 あるまいと、信仰心のあつい人たちの志で、

あげてお詣りすると、不思議なほど全快するので多く 人たちに信仰されていた。 風邪など流行すると、この寄木さまに酒の粕を

崇敬して神に祀り、寄木神社と称す。出雲崎浜の 鼻の岬へ漂着し忽地根芽を生じ数回の奇瑞あり、 国日御崎より当国人を慕ひ、一樹の榎流れ来り、 然痘)を煩うもの祈念すれば速やかに平癒すと云ふ。\_ 之に拠る。人をして自ら神木たるを知らしむ。痘瘡(天 温故の栞」六編 傍線筆者)と記す。 (明治二十三年)にも「伝に上古出雲の 土人





案内板挿絵と寄木様の入口

点在 中で捉えられよう。 があった所以である。この寄木様伝承もその枠組 とが は 出 する。対馬海流に乗り、早くから人や文化 わ 雲の かる。興味深いことに、柏崎 大国主命(大己貴命)を祭神にする 市 や出 三雲崎 神社 町周 み

まは石祠だけが残る。 寄木様も、長くそうした役割を担ったに違いない。 かし明治十一年の明治天皇北陸巡幸の折に伐られ、 一里塚などに植えられ、旅人の休み場所となった。 **榎は砂地に根を張り木陰を作る。北国街道の浜沿** 



寄木様の石祠

この交流 が

### 寄 り鯨」の 供養塔

## 鯨塚につい

巨 鯨

邉 四

基あるという。 によれば、全国に 塚 が な観念を育んできた。例えば、 5 々はその恩恵に感謝し、供養のため鯨 る「寄り鯨」への対応もその一つで、 らす人々 様 周 (鯨墓)を建ててきた。松崎憲三の調査 Þ 井 な を海 0) K 囲 が まれ 海岸に流 はこうした鯨塚 れら漂 た日本 着物 n には、 稀に打ちあ 対し が 海辺 古 六四 特別

初

九二年 眺 ま には現存で合計九基 とがある。実は、長い 発 めてみよう。 れる冬の漂着である。その主な四 行)で新潟市間瀬の鯨塚を紹介し ところで以前、 )が確認でき、その多くが荒波に揉 会報七五号(二〇 海岸線を有する本県 (本間義治ほ か "、 一 九 たこ 例

ところがない。 を は はじめ 海 辺 頭七浦潤う」と言うように、 0) 油や骨 村に大きな富をもたらした。 髭に至るまで棄てる 寄

> ど、その恩恵は増すことになる。 たが って、鯨が大きけ れば 大 き 11 ほ

刻む。 面に 年三月五日 も達したという。当時、公務員(高等官) 体がもたらした総売上金は一○七○円に 一鯨 塚は、 任 明治四十三年三月造立の柏崎 給が五五円であったから、その経済 尺重量一 0) 紀念鯨頭骨」、 ナ 頭骨を埋納した供養塔で ガスクジラと思われるが、その巨 海岸に漂着した二〇 /当町海岸ニ漂着ス身長十三 万八千貫匁ヲ有シタリ 右側面に「明治四 m 市 余り 宮 十三 Ш ے 正 0) 0  $\mathcal{O}$ 



柏崎市宮川(明治43年)





佐渡市椎泊(明治21年)



寺泊町大和田(明治30年)

効 果は 絶 大であっ

石塔と鯨の肋骨が合わせ祀られる。 (には嘉永二(一八四 が 岡 大和 市寺泊 田 には明治三十年二月造 には二基 九 0) )年四月造立 が あ ŋ, 立 0)

沢

0

がシャ %能登 だと 鯨 月造立で「釈震聲能度鯨魚」と戒名を 『塚がある。うち「能度」の文字には、 方、佐渡市椎泊には、明治二十一 いう説とがある。 から流れ着いたからという説と子 チに襲われ母鯨が能く泣いたか 年 刻 旧

が む

鯨塚にはそれぞれの物語が潜んでい

Ш

腹

には小石柱の素朴な初代のお墓が

### 寄稿

# ―燕市竹ヶ花集落―県内に残る貴重な渡来人の里

# | 「新羅王祭」を開く|| 今年も感謝の||

第一二〇回記念祭事 六月十二日(日)に

## 新潟市 斉藤忠男

小 路 11 市 新羅王碑」(しらぎおうひ)と刻まれた古 石碑に辿り着く。 道 中島の旧 河口近くの右岸にある小さな農村、 から小高い丘の竹林を登ると頂上に 通 水百 分水町竹ヶ花集落。堤防下の 周 年を迎えた大河津分 燕 水

業や 馬 部 落 ŋ ここで生涯を終えたという。 の里。 0) 海 に 0) ここが新潟県に残る史跡で渡来人ゆ 集落 医 流 あった新羅国の王族関係者の船が対 伝承によると、古代、朝鮮半島の 療などの高い技術で地元に貢献し、 にのって寺泊に漂着した。その後、 知っている人は少ない場所だ。集 に迎えられた渡来人たちは、農 東南 か

> しくて大きい石碑が山頂に建立された。 年六月、当時の弥彦神社神官の指導で新 今も残っている。明治三十五(一九○二)

の思いまでを書き下ろしてある。 長善館(燕市粟生津〈あおうづ〉に跡地。現 会木彦嶽(げんがく)が撰者だった。表記 は漢文で渡来人が定着した由来から望郷 は漢文で渡来人が定着した由来から望郷

て訪 る日も近 念願だった案内看 韓国際文化交流が始まった。長年、村民の 昨夏は駐新潟韓国 れ、これが好機となって新時 板が同館から寄贈され [総領 事館 行 代 が 初 0 日 8

ている。 念祭事があり、皆さんの来訪をお待ちし一今年六月十二日(日)は、第一二〇回記

254-0907までどうぞ。 詳細は私(祭事案内人)の携帯090-6



新羅王碑の建つ丘(燕市竹ヶ花)



新羅王碑

### V 事務局だより



予定する有志見学会の参考にもなります。 学会を計画しました。総会の講演は9月に よいよ新年度。左記のとおり総会と見

# ▶◆和4年度総会と講演会のご案内

会 H 場 5月22日(日)13時~16時30分 長岡市市民協働センター(第1~

公開講演会(13時~14時30分) 第3ルーム)アオーレ西棟3階

第

部

講師 佐々木長生氏(元福島県立

演題「会津・磐梯山麓の石神仏と 博物館専門学芸員

その信仰」(仮

第二部 ②役員改選の件 ①令和3年度事業報告·決算報告 総会(14時40分~16時)

③ 令和 4 年度事業計画·予算案

第三部 ※出欠は同封のハガキで5月15日までに 懇談会(16時~16時30分)

返信願います。

☑中越地区見学会のお知らせ

テー 7 山里・旧高柳町の石神仏を歩く 6月3日(金)9時~15時30分 山の神・風の神・道の神

> 集 合 9時 柏崎市文化会館アルフォー 駐車場(赤レンガ風トイレ前

見学地 岡田十二神社、名勝「貞観園」(娥眉 山下橋標木と庭園)、磯ノ辺十二神 社·観音堂石仏、門出神社·田代十 一神社など

解 昼 散 食 15時30分 道の駅・じょんのび村「黒姫御膳

参加費 定 20名 ※マスク着用 5000円(昼食代・バス代等含む)

申込み 電話 伊比卓郎まで(電話かEメールで) 〆切5月25日(先着順 090-7275-8869

Eメールtnibi@poppy.ocn.ne.jp

## △会員の出版物

県東蒲原郡上谷村「かみたに」のくらし―」 者ならではの民俗誌です。 の人々との長く温かな交流から生まれた著 (新潟日報事業社)を出版されました。室谷 阿賀野市の岩野笙子さんが『室谷―新潟



B5判、120頁 1,300円+税

◇「日本の石仏」項目別分類索引(創刊~第 します。 六○号)及び目次(三冊一組)をお分け

ますので、ご覧にな ます。総会、石仏フォ を頂だきました。有効活用させていただき 日本石仏協会の坂口前会長さんより索引 ーラム等で紹介いたし

さい。 ご入用の方は事務 にはまだ、在庫の号 ちください。また、 り、必要な方はお持 局までご連絡くだ もあるもそうです。 索引に掲載されて いる「日本の石仏



### ◇会費納入のお願い

紙を同封しました。早目にお振込願います。 今年(令和3)度の会費未納の方に振込用

### 編集後記

会・見学会で皆さまとお会いできるのを楽し せました。コロナ対策に万全を期し、上記総 みにしております。 あわせて新年度総会と中越見学会の案内も載 今号は「漂着」をテーマに特集を組みました。

本号編集担当 中越地区事務局